

公安委員会定例会議開催状況

1 開催日 令和2年1月22日(水)

2 開催場所 警察本部公安委員会室

3 出席者

(1) 公安委員会

金子委員長 石田委員 町田委員

(2) 警察本部

本部長 警務部長 生活安全部長 地域部長 刑事部長 交通部長 警備部長
情報通信部長 首席監察官 警察学校長
監察官 生活安全企画課長 組織犯罪対策課長 交通安全対策室長
交通規制課長 運転管理課聴聞官

4 議事の概要

(1) 報告事項

ア 「おまわりさんのふれあいコンサート」の開催について

警察本部から、「『県民と警察を結ぶ音のかけ橋』として活動する警察音楽隊によるコンサートを通じて、県警察の活動に対する県民の理解と共感を深めることを目的として、令和2年2月15日、桐生市市民文化会館シルクホールにおいて、『おまわりさんのふれあいコンサート』を開催する。」と報告があった。

イ 留置管理業務概要について(令和元年中)

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から、「昨今、被留置者が警察署留置施設から逃走する事案が発生しているので、同種事案が発生しないよう万全を期していただきたい。」と意見があった。

また、委員から、「看守や護送等の様々な業務があると思うが、留置管理担当者の業務負担はどうか。」と質問があり、警察本部から、「警察本部において、収容人数を把握して勤務員を配置しているが、業務負担が集中した場合には、警察本部留置管理課の支援係が支援するなど、負担軽減を図っている。」と回答があった。

ウ ストーカー・配偶者暴力事案への対応状況について(令和元年中)

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から、「配偶者暴力について対応に苦慮する点があるのではないか。」と質問があり、警察本部から、「警告や検挙をした後も、暴力が続き、再び検挙し

た事例もある。県警では、被害者の安全確保を最優先として積極的な事件化を図るとともに、被害者の保護対策等を強化している。」と回答があった。

また、委員から、「過去の深刻な事態を踏まえた反省教訓を生かしていただきたい。」と意見があった。

エ 山岳遭難発生状況について（令和元年中）

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から、「山岳遭難の救助活動には高い技術が必要だと思うので、救助隊員の育成にも十分配慮していただきたい。」と意見があった。

また、委員から、「外国人にも注意喚起等を行っているのか。」と質問があり、警察本部から、「昨年県警ホームページに英語版の注意喚起文を掲載している。引き続き、関係機関と連携して事故防止を図っていく。」と回答があった。

オ 110番通報受理状況について（令和元年中）

警察本部から、上記の件について報告があった。

カ 刑法犯の認知・検挙状況について（令和元年中）

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から、「検挙実績等に県警の取組の成果が出ていると思うので、引き続き、県民の安全・安心のため尽力していただきたい。」と意見があった。

キ 警察職員の交通事故、交通違反及び苦情状況について（令和元年12月末）

警察本部から、上記の件について報告があった。

(2) 決裁事項

ア 許可等事務に関する公安委員会の権限に属する事務の専決状況について（令和元年第4四半期）

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

イ 猟銃安全指導委員の委嘱について

警察本部から、平成30年4月1日に委嘱した猟銃安全指導委員の任期満了に伴う、同委員の委嘱について説明があり、決裁した。

ウ 暴力団対策法及び群馬県暴力団排除条例に関する公安委員会の権限に属する事務の専決状況等について（令和元年第4四半期）

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

エ 地域交通安全活動推進委員制度関係の公安委員会の権限に属する事務の専決状況について

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

オ 交通規制課関係の公安委員会の権限に属する事務の専決状況について（令和元年下半期）

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

カ 行政処分の意見聴取結果等について

警察本部から、当日実施した運転免許行政処分対象事案13件の意見聴取結果及び5件の聴聞結果について説明があり、決裁した。また、次回の意見聴取等の実施予定について説明があり、決裁した。